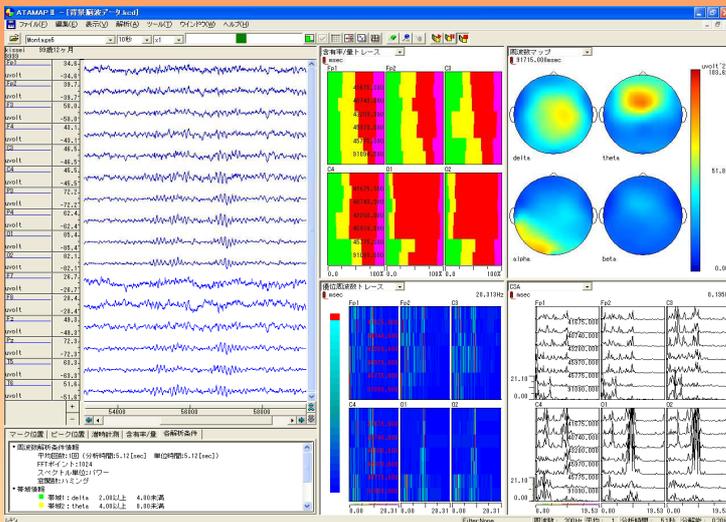


EEGマッピング研究用プログラム

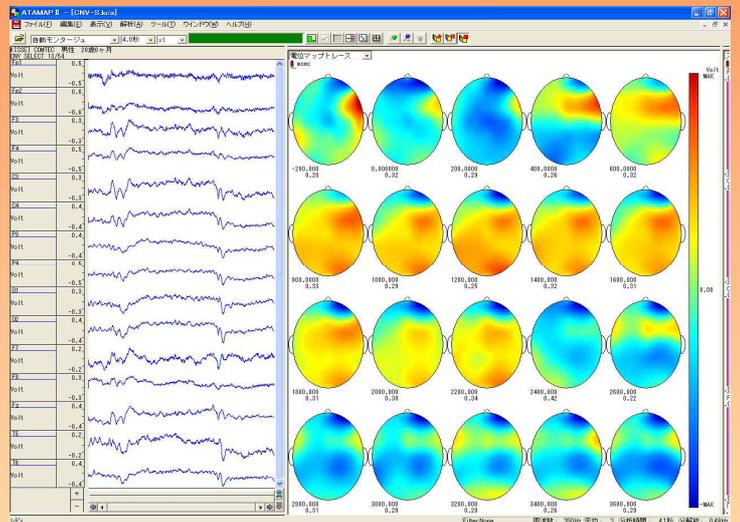
ATAMAP[®] II for Windows

アタマップ・ツー

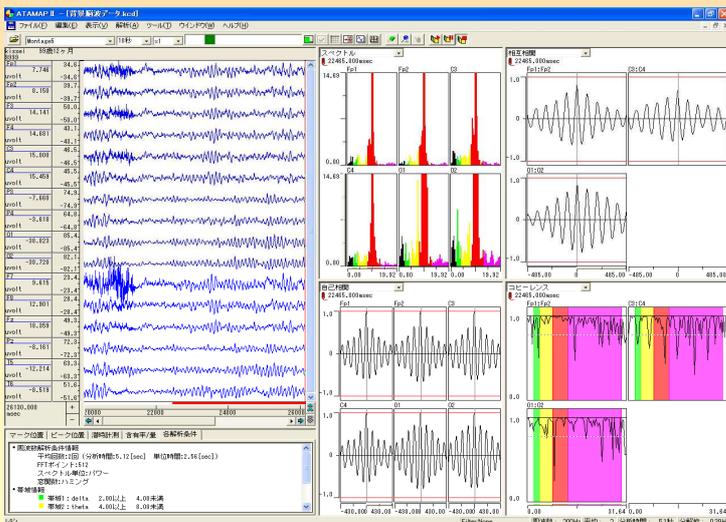
多チャンネル・自由部位での誘発の電位マッピング・
背景脳波の周波数帯域別マッピングを実現！



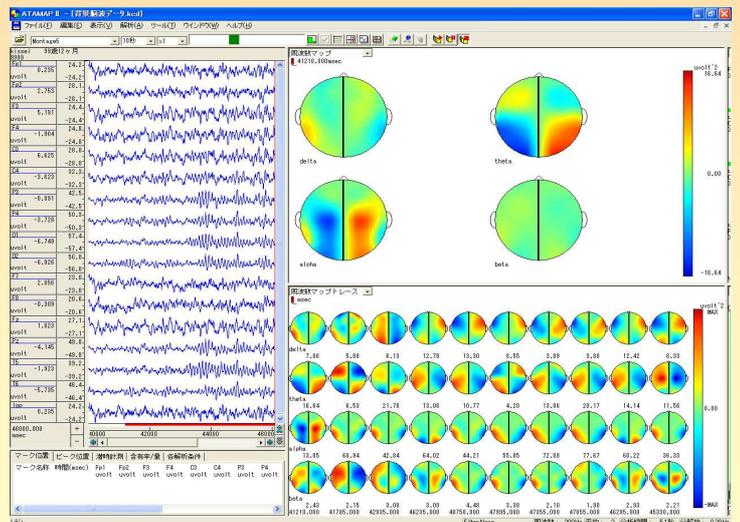
周波数帯域別マップ、CSA、含有率トレース、優位周波数トレース



誘発脳電位マップトレース



スペクトル、自己相関、相互相関、コヒーレンス



左右差マップ



ATAMAP® IIの特徴

- 最大256チャンネルの脳波解析と脳波のマッピングを行えます。
- EEG記録は、最大32チャンネル可能です。
(誘発脳波の記録は別途弊社製品EPLYZERIIが必要です)
- 記録した全てのチャンネルを同時にモニタリングできます。
- モンタージュ設定として、入力部位(電極位置)を自由に配置・変更できます。
また、記録していない部位に対して、任意の補間式を設定できます。
- 最大10帯域を設定でき、帯域名や帯域幅を任意に変更できます。
- 脳波データに対してデジタルフィルタを施し、ノイズを除去できます。

- 解析種類：
電位マップ、電位マップトレース、周波数マップ、周波数マップトレース
優位周波数、優位周波数トレース、含有率/量、含有率/量トレース
スペクトル、CSA、自己相関、相互相関、コヒーレンス など
トレース機能を使用して、変化量を連続的に把握できます。

- 脳波データから、左右差マップや検定マップ(t値・P値)を行えます。
- 解析結果をテキストファイルに保存し、市販の表計算ソフト(Excelなど)にて集計が可能です。

- 他社デジタル脳波計やデジタルレコーダなど各種計測機器で収録したデジタルデータを読み込むことが可能です。この場合は、別途弊社製品VitalTracer+ATAMAPIIの解析ソフトウェアが必要です。
- 弊社のお他製品SleepSignやBIMUTASIIで収録したデジタルデータは、そのままATAMAPIIで読み込み解析できます。

ATAMAP® IIの動作環境

パソコン	デスクトップ型 または ノート型 (USBポート搭載機種 (注1)) 解析のみの場合：使用OSの推奨スペック以上 収録を行う場合：CPU：Core i5以上/メモリ：4GB以上/ハードディスク：空き容量100GB以上 解像度：1024×768以上 (1280×1024以上を推奨) 収録には、デスクトップ型はPCIまたはPCIeバスが、ノート型はUSBポート(注2)が必要です。
OS	解析のみの場合：Windows 7 Professional 32, 64bit / Windows 10 Pro 32, 64bit (注3) 収録を行う場合：Windows 7 Professional 32bit / Windows 10 Pro 32, 64bit
A/D変換	デスクトップ型：コンテック社製 AD16-16U(PCI)EV または AIO-161601UE3-PE (注4) ノート型：コンテック社製 AIO-163202FX-USB

(注1) ソフトウェアのプロテクトキーを装着するために必要です。

(注2) USB3.0は動かないことがあります。(Windows7の場合のみ)。

(注3) その他のOSを使用したい場合には、弊社までお問い合わせ下さい。

(注4) 17チャンネル以上のデータを収録する場合には、このボードの他にオプションボードが必要です。



キッセイコムテック株式会社

公共・医療ソリューション事業部

〒390-1293 長野県松本市和田 4010-10

TEL : 0263-48-5551 FAX : 0263-48-1284

Email : biosignal@comtec.kicnet.co.jp

URL : <http://www.kicnet.co.jp/medical>

●このカタログの内容は、改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。●ATAMAPIはキッセイコムテック株式会社の登録商標です。●その他、プログラム名、システム名、CPU名は一般に各メーカーの(登録)商標です。●本製品(ソフトウェア)は外国為替及び外国貿易管理法の規定により、輸出規制品の対象品目に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取り下さい。